

平成23年11月24日

# 教育委員会第11回定例会記録

石巻市教育委員会

## 教育委員会第 1 1 回定例会記録

◇開会年月日 平成23年11月24日(木曜日) 午後 1時30分開会  
午後 2時36分閉会

◇開催の場所 教育長室

◇出席委員 5名

委員長	阿部盛男君	委員	鶴岡昭雄君 (委員長職務代行者)
委員	津嶋ユウ君	委員	今井多貴子君
教育長	境直彦君		

◇欠席委員 なし

◇説明のため出席した者の職氏名

事務局長	佐藤和夫君	学校教育課長	山田元郎君
学校管理課長	菅原正好君	生涯学習課長兼 中央公民館長	高橋忠之君
体育振興課長	亀山栄記君	歴史文化資料 展示施設整備 対策室長	菊地 広君
図書館長	今野金俊君	参事兼 遊楽館長	高橋憲悦君
教育総務課長 補佐	大崎正吾君		

◇書記

教育総務課 主査	高橋健之君	教育総務課 主任主事	山内龍一郎君
-------------	-------	---------------	--------

◇付議事件

一般事務報告

- ・教育長報告
- ・移動図書館の利用状況について
- ・石巻市河南室内プールの指定管理者について

- ・石巻市立高等学校の入学者選抜手数料等の免除について
- ・平成23年度教育費に係る補正予算要求について
- ・石巻市立学校施設災害復旧整備計画策定に係る保護者懇談会について

審議事項

第28号議案 谷川小学校閉校基本方針について

第29号議案 職員の人事について

第30号議案 職員の処分について

その他

午後 1時30分開会

○委員長（阿部盛男君） ただいまから平成23年第11回定例委員会を開会いたします。

まずもって、連日連夜各地区懇談会にご出席いただきまして、いろいろな地域の方々のご意見収集に当たられたことに対して感謝を申し上げます。ご苦労さまでした。

本日の会議ですが、欠席委員はございません。

---

#### 会議録署名委員の指名

○委員長（阿部盛男君） 本日の会議の録署名委員を指名いたします。

本日は津嶋委員よろしくお願いいたします。

---

#### 教育長報告

○委員長（阿部盛男君） 本日の案件ですが、一般事務報告が6件、審議事項が3件及びその他となっております。よろしくお願いいたします。

それでは、初めに一般事務報告に入ります。

教育長から報告お願いいたします。

○教育長（境 直彦君） 今、委員長からもお話がありましたとおり、11月1日から11月11日まで、石巻市立学校施設災害復旧整備計画策定に係る保護者懇談会、7地区で順次行いました。この後、事務局長から、この懇談会の内容について報告が詳しくございますけれども、教育委員方にもご出席いただきましてありがとうございます。滞りなく無事終わることができました。なお、その後、先週15日から復興計画の素案の各地区14カ所で行う説明会が始まっております。その中でもやはり学校の問題については質問が出ており、保護者から学校がどうなるのかということの質問で、現在保護者会を開いて内部で検討した案に基づいてご意見をいただき、また再度審議あるいは検討を加えて公表する予定ですということ、また、地域との懇談会も開きますということの内容を答えているところでございます。

それから、21日の月曜日、市議会の第6回臨時会が開催されました。この件に関しては、教育関係は特にありませんでしたので、説明は省略させていただきます。

以上でございます。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの報告に対しまして、ご質問ございましたら。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） よろしいですか。

（「はい」との声あり）

---

#### 移動図書館の利用状況について

○委員長（阿部盛男君） それでは、次にまいります。

移動図書館の利用状況について、図書館長から報告お願いいたします。

○図書館長（今野金俊君） 私から報告させていただきます。

資料2の1ページ目をお開きください。

移動図書館の利用状況でございますが、仮設住宅で生活している市民に対しまして、移動図書館車による図書サービスを行いまして、被災者の心のケア、読書環境の整備を図るということで開設しております。

巡回先は市内の仮設住宅の団地を中心に24カ所、時間は大体30分から1時間程度、地区につきましては、括弧内にあるとおり、石巻地区は7、河北4、雄勝2、河南4、桃生3、北上2、牡鹿2というような状況になっております。具体的には駐車場以外は下のところに書いてあるとおりでございます。

利用実績でございますが、10月29日土曜日から開始いたしまして、11月11日金曜日までということで、一回りした段階での推計でございますけれども、貸出者数が107名、貸出冊数が458、予約を受け付けたものが6、新たに登録した者が75名というような状況でございます。

今後につきましては、各巡回地区の利用状況を見ながら、利用の促進策とか巡回場所等、団地内、車をとまる場所とかの検討をいたしまして、図書の貸し出しの振興に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの説明に対してご質問等ございましたらどうぞ。

質問等ございませんでしょうか。

どうぞ。

○委員（今井多貴子君） 河南地区の移動図書館巡回場所について、広淵小学校前の第1、第2団地は仮設住宅入居者がいっぱいになっているのに移動図書館車が回ってきていないですね。あそこは車をとめる場所も十分あるのですけれども、今後、広淵も検討はされるでしょうか。

○委員長（阿部盛男君） それでは、館長、お願いします。

○図書館長（今野金俊君） 利用状況等を見ながら、これから巡回地区の変更というのも考慮

してまいりたいと思います。

○委員（今井多貴子君）　そうですか。では、あり得るということですね。

（「そうです」との声あり）

○委員（今井多貴子君）　わかりました。ありがとうございます。

○委員長（阿部盛男君）　よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君）　そのほかございましたら。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君）　ございませんでしょうか。

（「はい」との声あり）

---

#### 石巻市河南室内プールの指定管理者について

○委員長（阿部盛男君）　それでは、次に、石巻市河南室内プールの指定管理者について、遊楽館長からお願いいたします。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君）　それでは、2ページ、3ページをお開きいただきたいと思っています。

石巻市河南室内プールにつきましては、オープンの平成17年3月1日から指定管理者制度を導入いたしまして、これまで石巻にありましたスポルスにお願いしていたところです。昨年22年度から26年度まで5年間指定管理ということで、同じくスポルスにお願いしていましたが、今回の3月11日の東日本大震災によりまして、中里にあるスポルス本社初め、その施設等に甚大な被害がありまして、今般、スポルスが廃業、会社をおやめになったということで、当然指定管理もできないということで辞退されました。それに基づきまして、河南の室内プールについても大分地震で傷みまして、その修繕をしながら、来年の4月1日をめどに再度指定管理者を選考して、指定管理をお願いしながらプールを開業したいということでございます。

それで、9月26日から指定管理していただく業者につきまして募集しましたところ、5団体エントリーございまして、10月31日、11月9日と2回選定委員会を開きまして、ごらんの表のとおりNPO石巻市体育協会とミズノグループが第1候補になられた、それから第2、第3につきましてはごらんのとおりでございます。

指定管理の期間につきましては、来年の4月1日から平成29年3月31日までの5年間ということでございます。

それから、3ページに指定管理料の限度額とございますが、これは文言表記での議案となりますが、括弧書きはあくまでも見込みといたしまして、年間1,600万円の5年間分ということで、8,000万というように考えております。教育委員会で承認いただきまして、次回の市議会第4回定例会に指定管理者の指定ということで提案させていただく予定です。

よろしくお願いたします。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの報告に対しまして、ご質問ございましたらどうぞ。

○委員（津嶋ユウ君） 選定されたのが第1順位、NPO石巻市体育協会とミズノグループ、2つということですか。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君） そうです。グループ提案となっております。

○委員（津嶋ユウ君） 一緒にとということですか。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君） ええ、そういうことでありました。

○委員（津嶋ユウ君） どちらかにするとかでなくて、共同でやっていただくという形ですね。わかりました。

○委員長（阿部盛男君） そのほかございませんでしょうか。

では、お聞きします。

石巻市体育協会のことは存じあげておりますが、ミズノグループの企業としての業務内容、所在地従業員の数など、第1順位に該当した妥当性があると思うのですが、そういったところ、お願いしたいです。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君） 選考委員会でもこのようなお話がありまして、まず体育協会とミズノでの仕事の分担について、体育協会につきましては、その体育協会の中に水泳協会と、よく小学校水泳大会とかいろいろ水泳教室とか活動しています水泳協会が傘下団体にございまして、その水泳協会、それから体育協会のスタッフが、人的な部分を担当すると。それからメンテナンスなどはミズノで担当することになります。そして、当然グループ提案ですので、ミズノと契約しているアスリート、例えば室伏さんとか、そういうアスリートを招聘しまして、今後、講演会なりそういうものもしたいということでございます。それで、ミズノスポーツにつきましては全国的な規模で、約96カ所のプールとか、それから体育センターなどの指定管理を受けている実績がございます。ですから、その実績を踏まえて、今度、東日本ではまず石巻のこのプールをということで、こちらにおみえになったみたいでございます。

○委員長（阿部盛男君） 本社は、ミズノグループというのはどこにあるのでしょうか。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君） 本社は東京です。

○委員長（阿部盛男君） 東京ですか。そうすると、ここは仙台支店とか支社とかということ。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君） そうです。仙台にあるミズノの同じような体育施設がご  
います。そちらの営業所の出先になるとお聞きしております。

○委員長（阿部盛男君） 民間の事業者共同で、運営と維持管理というところを担当するとい  
うわけなのですね。

○参事兼遊楽館長（高橋憲悦君） そうです。

○委員長（阿部盛男君） そうですか。わかりました。

もう1点ですが、この指定管理者制度は、本来はこれは公的機関、つまり市なら市でやるべ  
きものを民間の事業者に業務委託しているわけですね。契約内容とか、その他契約金などを決  
めてこれられると思うのですが、委託した場合、あそこの利用者を見ますと、児童・生徒あるい  
は幼稚園児なども行っているの、直接子供たちの生命あるいは身体の安全ということについ  
ては十分な配慮をしていただきたいものだなと思っております。

それから、新規の事業者が業務委託を受けるわけですが、契約内容に基づいて適切に安全を  
考慮しながら実施されているのかどうか、定期的な確認をお願いしたいと思います。

---

#### 石巻市立高等学校の入学者選抜手数料等の免除について

○委員長（阿部盛男君） それでは、次にまいります。

石巻市立高等学校の入学者選抜手数料等の免除について、教育総務課長補佐お願いします。

○教育総務課長補佐（大崎正吾君） それでは、石巻市立高等学校の入学者選抜手数料等の免  
除についてご説明申し上げます。

表紙番号2の一般事務報告資料4ページをごらん願います。

高校生につきましては、平成24年度におきましても、東日本大震災による被災した生徒の就  
学機会を確保するため、平成24年度分の入学者選抜手数料及び入学金を免除できるよう石巻市  
立学校の授業料等徴収条例の一部を改正するため、平成23年市議会第4回定例会に提案する議  
案の内容についてご報告するものでございます。

石巻市立学校の入学者選抜手数料及び入学金の免除につきましては、石巻市立学校の授業料  
等徴収条例及び平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う石巻市立高等学校の入学者選抜手数料等  
の特例に関する規則により規定しておりますが、その対象につきましては、平成22年度分の入  
学者選抜手数料、平成23年度分の入学者選抜手数料及び入学金を対象としておりますが、平成  
24年度におきましても同様に入学者選抜手数料及び入学金を免除するものでございます。

なお、入学者選抜手数料等の免除対象者につきましては、今年度同様に東日本大震災により住居の全壊または半壊、住居の全焼または半焼、住居の流失、世帯の収入に著しい減少が認められた生徒としており、宮城県内に公立高等学校を有する宮城県及び仙台市と同じ扱いとなっております。

以上で一般事務報告を終わります。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの報告に対し、ご質問ございますでしょうか。

ございませんですか。

（発言する者なし）

---

### 平成23年度教育費に係る補正予算要求について

○委員長（阿部盛男君） それでは、次にまいります。

次に、平成23年度教育費に係る補正予算要求について、教育総務課長補佐お願いします。

○教育総務課長補佐（大崎正吾君） それでは、平成23年度教育費に係る補正予算要求についてご報告いたします。

表紙番号2の一般事務報告資料6ページ及び7ページをごらん願います。

本報告につきましては、東日本大震災の対応のため緊急的に必要となる費用について、現在事務局で編成作業を行っております教育費関連の予算要求の内容についてご報告するものでございます。

予算要求の詳細につきましては、配付しております資料のとおりとなりますが、主な内容についてご説明申し上げます。

災害対応のうち学校関連のものとしまして、7ページの上から3段目にございます、被災しました住吉小学校、釜小学校、開北小学校、大街道小学校、中里小学校、鹿妻小学校、貞山小学校、住吉中学校、荻浜中学校、山下中学校、これらの学校の屋内運動場の床張りかえ等の復旧に要する経費を歳出に計上しております。これらの事業に伴いまして、国から入ってきます負担金等を6ページの歳入に計上しております。

次に、その下段になりますが、被災しました向陽小学校及び万石浦小学校の屋内運動場の改築工事と山下小学校、大谷地小学校の屋内運動場の修繕工事に係る設計業務等に要する経費を計上しております。同様に、これらの事業に伴います国からの負担金等を歳入に計上しております。

次に、7ページの上から2段目に被災した学校給食センターの食器・調理器具の購入及び食

器統一に伴います洗浄機の購入及び修繕に要する経費を計上しております。また、東松島市矢本学校給食センター施設の借り受けに要する経費を計上しております。

次に、学校以外の教育施設に係る予算としまして、7ページの中段になりますが、河北総合センター及び遊楽館等の社会教育施設の災害復旧に要する経費及びこれらに伴う国からの補助金等を計上しております。

次に、災害対応以外のものとしたしまして、6ページの下から4段目でございますが、須江小学校、この学校は現在10学級となっておりますが、児童数の増加に伴いまして、平成24年度には11学級となる見込みとなりますことから、不足する普通教室を確保するため、新たに仮設校舎の借り上げに要する経費を計上しております。なお、7ページの中段でございますように、仮設校舎のリース期間が平成26年3月までとなっておりますことから、複数年にわたる支出を伴います経費ということで、債務負担行為を設定しております。

以上が12月補正予算要求の概要でございます。要求内容及び要求額につきましては、現時点での内容でございますことから、今後の予算編成作業の過程におきまして変更となる可能性がございますので、ご了承いただきたいと思っております。

以上で一般事務報告を終わらせていただきます。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの報告に対し、ご質問ございましたらどうぞ。

ございませんか。

（発言する者なし）

---

#### 石巻市立学校施設災害復旧整備計画策定に係る保護者懇談会について

○委員長（阿部盛男君） それでは、次にまいります。

石巻市立学校施設災害復旧整備計画策定に係る保護者懇談会について、これは事務局長お願いいたします。

○事務局長（佐藤和夫君） それでは、保護者懇談会についてご説明申し上げます。

資料は別冊1でございます。

石巻市立学校施設災害復旧整備計画策定するため、保護者からの意見を聞くための場といたしまして、11月1日から11日までの間、7地区を会場に保護者懇談会を開催いたしました。教育委員の皆様にもご足労いただき、まことにありがとうございました。

懇談会への出席者数ですけれども、渡波地区の86名を最大に7地区全体で289名の出席をいただく活発な意見交換が行われました。

門脇地区では、将来的な門脇中学校と石巻中学校、石巻小学校と大街道小学校との児童・生徒数のバランスを心配する意見や、未就学の保護者や地域の意見を聞くべきなどの意見が出されました。

湊地区では、湊小学校校舎の早期使用や中学校校舎の使用についての要望が出されております。

渡波地区では、学校が地域にない状態を早く解消してほしい、渡波小学校の現校舎を使用して早期に再開してほしいとの要望が出されました。

雄勝地区では、まちづくり計画の中に学校建設もあわせて行うべきとの意見があり、学校建設が雄勝地区の復興に欠かせないと考えているようでございます。また、船越小学校と雄勝小学校の統合については建設的な意見が出されましたが、大須小学校や大須中学校との統合については否定的な意見がございました。

牡鹿地区につきましては、大原小学校の保護者に対する谷川小学校統合の情報が十分に浸透していなかったようでしたけれども、統合については、特に反対する意見はございませんでした。

北上地区では、相川小学校PTAで実施したアンケートの結果は、3校統合を希望する意見と反対する意見が半々ということでしたけれども、吉浜小学校は児童数の減少が著しく、統合もいたし方ないという意見が出されました。

河北地区では、大川小学校と大川中学校の児童・生徒数が減少している中で新校舎の建設が可能なのか疑問視する声ですとか、あるいは仮設校舎を早期に建設する要望がございました。

その他、各地区に共通する部分として、スクールバスの存続や仮設住宅等からのバスの運行についての要望がございました。

今後のスケジュールといたしましては、これらの意見を踏まえまして、学校施設災害復旧整備計画検討委員会で検討を重ねた後に、再度地区住民からの意見をお聞きし、本年12月末までに復旧整備計画を取りまとめて、教育委員会での審議をお願いしたいと考えております。

また、11月15日から始まりました復興基本計画意見交換会は、今月の27日まで各地区で行われておりますが、主に土地に関する質疑が中心でして、教育関係の中では、例えば命を守るということについて行政は何をするのかといったような抽象的なものもありましたけれども、主には被災した学校がどうなるのかという質問が多く出されまして、それに対しましては、先ほどの保護者説明会での方向性について、決定したものではありませんが、複数の考え方を説明して、おおむね理解を得たというような印象を受けております。そのほか、やはり通学の問

題が不安であるという意見が出されております。この意見交換会での意見も今後参考にしてまいりたいと考えております。

以上でご報告を終わります。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの報告に対して、ご質問ございましたらどうぞ。

各地区で委員方にご出席いただいた地域については、詳細ご承知になったと思いますが、その他の地域等でどのような話し合いがあったのかというのは、先般届けられました資料に詳細が載っておるところであります。ご質問ございませんか。

この検討委員会で課長方が集まって検討されたことだと思いますが、より一層細やかな情報を教育委員会としてもつかんでおく必要があると思われまます。そのためには地域を統括している各支所の支所長あるいは公民館長あるいは統合地区の校長先生方、PTAと接触している機会が多いはずですので、そういう方々からどのように地域住民がこの震災を受けての学校整備計画について考えているのか情報を手に入れておいて、この次の懇談会等に臨むのがいいのかなんていうようなことも考えました。

○事務局長（佐藤和夫君） 各地域に出向いた折には、総合支所長等とは話はしておりますけれども、そういった情報収集ということに努めてまいりたいと思います。

○委員長（阿部盛男君） それから12ページのところ、河北地区のところの一番上の段ですけれども、この人は重要なことを質問しているなというように思ったのですが、大川地区の子供の数が新しい学校を建設できる基準に達しているのかという質問です。学校の適正規模を言わんとしたのではないのかなと思いました。それから、後段の部分で、「5人でも10人でも新しい学校を建てるというのならそれでも構わないが」ということを言っています。極端に児童・生徒が少なくなったとき、それでも学校を建てるのかということをごここで質問したのでないかなと思ったのですが、事務局長、その辺についてどう受けとめたのでしょうか。

○事務局長（佐藤和夫君） この河北地区の検討した段階での学校を、二俣中学校を河北中という、統合というのも案は考えましたということが最後に1行あるのですけれども、大川小・中はあのような被害を受けたところなので、学校は統合がありきではなくて、学校を建てるというところでの前提で話し合いが進んでいるということなので、最初から適正規模、適正配置の基準には達していませんよという説明はしませんでした。ですから、逆に保護者の質問、この裏には統合でも構わないですよということもあったのかなというのはありました。

○委員長（阿部盛男君） 雰囲気としては他の地区と比べるとどうだったのでしょうか。

○委員（今井多貴子君） 大川中、大川小の43名の保護者の方がいらして、もうすごく前向き

に検討なさっております。私の代はもうこれで終わるけれども、河北にこれからずっと住んで、そこで生活して、これから生まれてくる子供たちのためにという働きをおっしゃっていたお母さんがいらして、前向きに検討して、明るく前へ前へ進まれる雰囲気、本当に真摯に受けとめられていて、胸が痛む思いがしました。とても冷静に、1点子供たちだけのことを思った姿勢が物すごく背中から感じ取られて、胸が痛んでという思いで聞いていました。

○委員長（阿部盛男君） わかりました。以上ですね。

そのほかございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、これで一般事務報告を終了いたします。

---

## 第28号議案 谷川小学校閉校基本方針について

○委員長（阿部盛男君） 次に審議事項に入ります。

第28号議案 谷川小学校閉校基本方針についてを議題といたします。

教育総務課長補佐をお願いします。

○教育総務課長補佐（大崎正吾君） それでは、ただいま提案されました第28号議案 谷川小学校閉校基本方針についてご説明申し上げます。

表紙番号1の議案書1ページ及び2ページをごらんいただきたいと思います。

本案は、東日本大震災で被災しました谷川小学校の閉校につきまして、その基本方針を定めるため教育委員会の議決を得ようとするものでございます。

この方針の具体的な内容につきましては、谷川小学校を平成24年3月31日付で閉校し、同年4月1日付で大原小学校に統合しようとするものでございます。

谷川小学校が閉校に至った背景としましては、東日本大震災により谷川小学校の校舎等の学校施設が被災を受けまして、谷川小学校父母教師会、それから通学区域となります泊地区、谷川地区、大谷川地区及び鮫浦地区の各行政区が協議を重ねまして、保護者においても協議を行い、谷川小学校を閉校して、来年4月1日から大原小学校へ統合する意向を決定したものでございます。8月11日には谷川小学校父母教師会長、それから各行政区長の連名による要望書が石巻市長及び本市教育委員会に提出されておるところでございます。

現在、東日本大震災で被災しました学校施設に係る石巻市立学校施設災害復旧整備計画の策定を進めているところでございますけれども、谷川小学校につきましては、父母教師会等から要望が出されております来年4月1日の統合を進めるため、12月2日から開催されます市議会

第4回定例会に石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例案を提出する必要があることから、その前提といたしまして、当校の閉校に係る基本方針を定めるものでございます。

以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの説明に対して、ご質疑等ございましたらどうぞ。ございませんでしょうか。

現在、谷川小学校は複式学級で授業を実施しているということですね。

○委員（津嶋ユウ君） 統合した場合でも4学級ですから、複式がはずれないですね。

○委員長（阿部盛男君） そのほかございませんでしょうか。

○委員（津嶋ユウ君） 児童が16名減りましたよね。この子供たちはこちらに戻るということなく、生活基盤を移したということなののでしょうか。

○教育総務課長補佐（大崎正吾君） 4月1日現在による見込み41名で、10月1日現在25名で16名減ということでございますけれども、これは家屋が被災して一時的に避難されている方が主なものだと思うのですが、ここが住宅等の再建がどのようになるか、それは今後復興基本計画等を含めまして、住民がどのように戻るか、まちのほうはどのように復興するかによってまた変わってくると思われまして。ですから、16名すべてがまた大原小学校の学区に戻るかどうかというのは、はっきりしたことは見えない状況です。

○委員長（阿部盛男君） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） そのほかございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） ないようでしたら、第28号議案については原案のとおり決することにしてよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） ご異議ございませんので、第28号議案は原案のとおり可決をいたします。

---

#### 第29号議案 職員の人事について

#### 第30号議案 職員の処分について

○委員長（阿部盛男君） 次ですが、委員の皆様方にお諮りをいたします。

第29号議案、第30号議案については人事案件でありますので、秘密会で審議をしたいと思います。

いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○委員長(阿部盛男君) それでは、第29号議案、第30号議案については秘密会において審議をいたします。

関係職員以外の方は、一時ご退席なさっていただきたいと思います。

---

(秘密会開催)

---

○委員長(阿部盛男君) それでは、会議を再開いたします。

---

#### その他

○委員長(阿部盛男君) 次に、その他に入ります。

初めに、委員方から何かございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(阿部盛男君) それでは、各課長方からございましたらどうぞ。

ございませんか。

(発言する者なし)

○委員長(阿部盛男君) それでは、次回の定例会の日程等についてお願いします。

○教育総務課主査(高橋健之君) 12月の定例会につきましては、12月27日火曜日午後1時半から開催する予定です。場所につきましては、現時点で未定ですので、開催通知によりご案内いたします。よろしく願いいたします。

○委員長(阿部盛男君) それでは、以上をもちまして本日の定例会の一切を終了いたします。ありがとうございました。

午後 2時36分閉会

---

教育委員長 阿 部 盛 男  
署名委員 津 嶋 ユ ウ